opusdei.org

## 観想的な心の静寂: 「午後の仕事の時 間」と「夜の時間」 (2)

「午後の仕事の時間」における潜心は、仕事を聖化し、神との対話を深め、夕方の祈りの準備をする助けとなります。

2025/01/13

前回の記事を読む

祈りと仕事が一つになる

オプス・デイの創立者は、ある手紙 の中でこう記しました。「仕事その ものを良く行うこと、人間的に見て も良い仕事をすること、職業的・社 会的な青務をしっかりと果たすこ と、それは神が私たちに委ねられた この 『日常の什事の聖化』の本質的 な部分です」団。このため、「午後 の仕事の時間 | について言及するに 際し、聖ホセマリアは、たくさんの 散発的な活動をあれこれとすること によって散漫にならないよう、そし て、「仕事を集中して、忠実に、 しっかりと、愛を持って果たすこと を容易にする | 図犠牲を〈深める〉 よう勧めました。つまり「午後の仕 事の時間 において大切なことは、 仕事を聖化しそれを主に捧げるため の第一条件となる「良い仕事」をす るための環境を作り出すことです。 「信心家ぶった人ではなく、本当に 信心深い人なら、職業上の義務を しっかり果たす。その仕事は神のも

とへと昇る祈りであることを知って いるからである」[3]。

こういった意味で、静寂を〈生き る〉努力は、午後の仕事を〈生 き〉、それをプロフェッショナルに 遂行する助けとなり得ます。時にこ の静寂に外的な静けさは伴わないで しょう。そのような状況がいつも可 能であるとは限らないからです。こ の静寂とは何よりそれぞれの職務が 必要とする落着きと集中力を持って その仕事に取り組むことを意味しま す。「しばしば、私たちは仕事を終 えたとたん、他のことをするために すぐに携帯電話を探します。私たち はいつもそのようにします。このよ うな態度は助けになりません。私た ちを表面的にするからです。心の深 みは静寂によって成長します」回。 マルチタスクや、急ぐこと、気の散 るものに注意を向けることは、内的 な雑音を増やし、仕事を良くするこ とを妨げ、それゆえ聖化を困難にし

ます。逆に、主の愛情深い眼差しを 感じながら、目の前の仕事に全神経 を注ぐことは、仕事を通じて神に栄 光を帰することを容易にするでしょ う。

観想的な精神、すなわち一日のすべ てを祈りに変えたいという望みは、 私たちを責任から遠ざけるものでは ありません。むしろ、それは神への 愛と他者への奉仕の精神によって、 一つひとつの具体的なタスクにおい て、良い仕事をするよう私たちを駆 り立てます。このようにして、世間 的には目立たない仕事も、主との対 話に入ることにより、神的な意味を 持つ永遠の価値のあるものになりま す。聖ホセマリアは、「祈りと仕事 は区別されない。すべては観想であ り使徒職である」とよく繰り返して いました「5」。このことについてド ン・アルバロは、私たちの創立者は 「いつ祈り、いつ働いているかを判 別できない。なぜなら彼にとってこ

の二つは同じ次元にあり、混ざり合って一つになっているからである」 ぼとコメントしています。

「午後の什事の時間」をこのように 生きることは、この観想的な精神を 一日中24時間生きるための良い訓練 となるでしょう。どんな仕事であれ 用事であれ、それは「私たちの思い を神から引き離しません。それどこ ろか、すべてを神のために行い、神 のために、神とともに、神のうちに 生きる望みを強めてくれます」「7]。 さらには休日など、「午後の仕事の 時間上において厳密な意味での仕事 に従事しない場合であっても、内的 静寂と観想的潜心を探しながら生き ることができます。そのようにし て、落ち着きと主へと向かう心を もって、その日の夕方の祈りを準備 することが可能です。

それゆえ念祷とは、つまるところ、 「午後の仕事の時間」はじめ、一日 を通して主と交わしてきた対話の延長となります。同時に「念祷のと、同時に「念祷のであればこく自持があればこく自動をと、立ちまれてごくらればことがあればこく自動を表した。この合うに、私たちも、このはいいでき」を保めるように、私たちも、このはいができ」を表しているように、私たちも、このです。

- [1] 聖ホセマリア、手紙24、18番。
- <u>[2]</u> 聖ホセマリア(Crónica, 1967, p. 788)。
- [3] 聖ホセマリア『鍛』739番。
- [4] フランシスコ、一般謁見演説、 2021年12月15日。

- [5] 聖ホセマリア、指針、1934年3月 19日、注釈35番参照。
- [6] 福者アルバロ、1941年12月8日付 指針のコメンタリー、注釈38番。
- [7] 聖ホセマリア『神との対話』212 番。
- [8] 聖ホセマリア『知識の香』119 番。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/ gogo-yoru-jikan2/ (2025/12/12)